



## 2016年3月期 第1四半期 決算説明会



新型「マツダ ロードスター」

マツダ株式会社  
2015年7月30日

1

### 本日の説明内容



- 総括
- 2016年3月期 第1四半期実績
- 通期見通し 及び 主要施策の進捗状況

2



## 総括

3

## 総括



- グローバル販売台数は、対前年16%増の37万台
- 新型Mazda2/デミオの本格的な台数貢献に加え、  
新型CX-3を順次グローバルに展開
- 新型MX-5/ロードスターを日本から導入開始
- 売上高は8,060億円、営業利益は533億円、  
当期純利益\*は368億円  
\*親会社株主に帰属する当期純利益
- 販売台数、利益とも通期計画に対して順調な進捗
- トヨタ社と業務提携に向け基本合意

4



## 2016年3月期 第1四半期実績

5

### 2016年3月期 財務指標



(億円)	第1四半期		対前年 増/(減)	
	2015年 3月期	2016年 3月期	金額	YOY(%)
売上高	7,056	8,060	1,004	14%
営業利益	564	533	(31)	(5)%
経常利益	546	546	0	0%
税引前利益	528	539	11	2%
当期純利益*	489	368	(121)	(25)%
売上高営業利益率	8.0%	6.6%	(1.4)pts	
EPS** (円)	81.8	61.5	(20.3)	
為替レート (円)				
USドル	102	121	19	
ユーロ	140	134	(6)	

\*親会社株主に帰属する当期純利益

\*\* 株式併合の影響を考慮

6

## グローバル販売台数



(千台)	第1四半期		対前年 増/(減)	
	2015年 3月期	2016年 3月期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数				
日本	40	57	17	44%
北米	110	116	6	6%
欧州	56	54	(2)	(4)%
中国	44	57	13	31%
その他市場	69	86	17	22%
合計	319	370	51	16%
<内訳>				
米国	78	81	3	3%
オーストラリア	24	28	4	17%
ASEAN	19	22	3	17%

7

## 日本

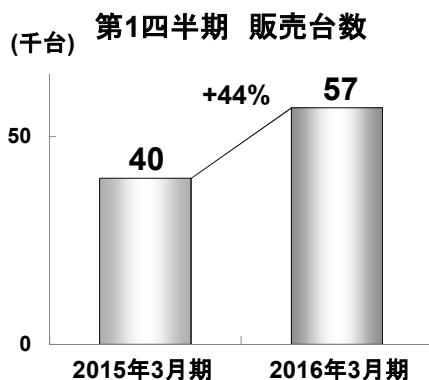


■ 販売台数は、対前年44%増の5万7千台

■ 需要が前年を下回る中、販売を伸ばし、シェアは対前年+1.8pts増加の5.2%

■ 新型デミオ、新型CX-3の販売は、好調に推移

■ 新型ロードスターは、発売1ヶ月で5千台を受注、好調なスタート



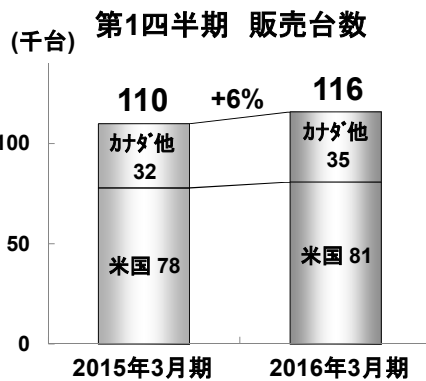
8

## 北米



CX-5改良モデル

- 販売台数は、対前年6%増の11万6千台
- 米国: 対前年3%増の8万1千台
  - CX-5、Mazda6の商品改良モデルが販売を牽引
  - 正価販売方針を継続
- メキシコ: 対前年48%増の1万3千台
  - Mazda3に加え、新型Mazda2の販売が好調
  - 過去最高の販売台数とシェアを達成



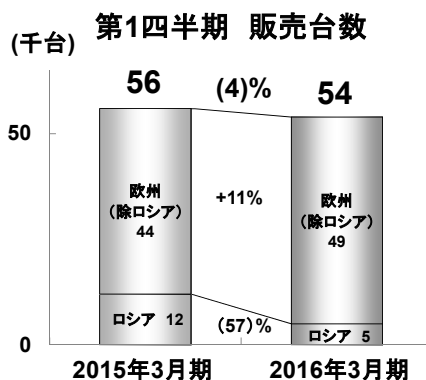
9

## 欧州



新型 Mazda2/Demio

- 販売台数は、対前年4%減の5万4千台
- ロシアを除く欧州販売は、対前年11%増の4万9千台
  - ドイツ: 対前年1%増の1万4千台
  - 英国: 対前年20%増の9千台
- ロシアでは需要縮小とルーブル安の影響で、対前年57%減の5千台



10

## 中国



Mazda3/Axela

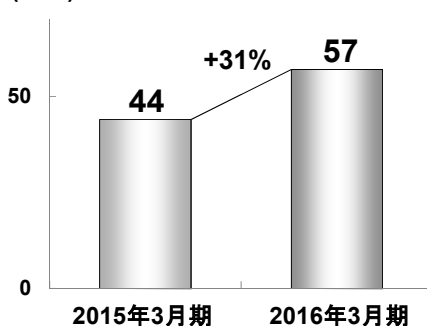
■ 販売台数は、対前年31%増の5万7千台

■ 第1四半期の販売台数は過去最高

■ Mazda3の販売が好調

■ CX-5の商品改良モデルの販売を開始、受注は好調

(千台) 第1四半期 販売台数



11

## その他市場



新型CX-3

■ 販売台数は、対前年22%増の8万6千台

■ オーストラリア: 対前年17%増の2万8千台、シェア9.4%

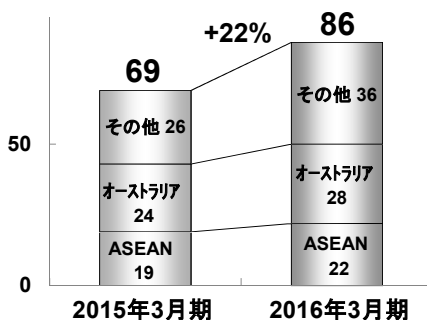
- メーカー別販売で2位
- CX-5はセグメント販売台数1位
- 新型CX-3は販売好調

■ ASEAN: 対前年17%増の2万2千台

- タイ、インドネシアの需要減の中、ベトナムなどが販売増に貢献

■ その他市場: サウジアラビア、コロンビアが過去最高の販売台数

(千台) 第1四半期 販売台数



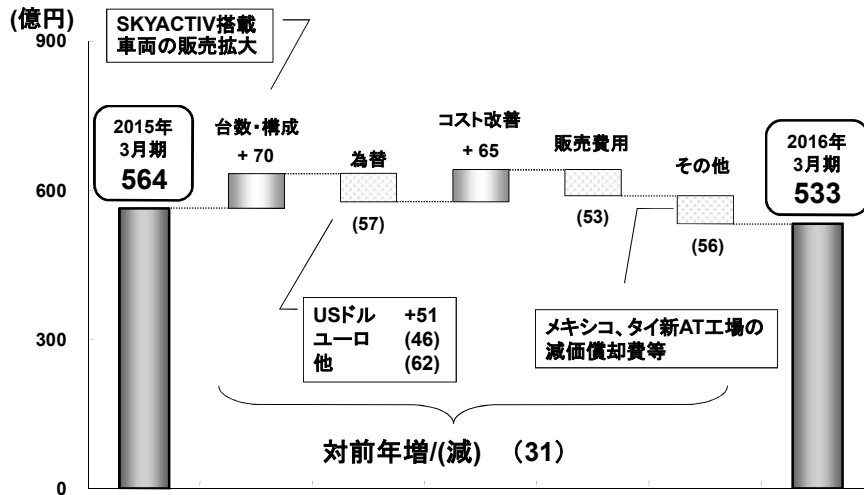
12

# 営業利益変動



## 2016年3月期 第1四半期 対前年比較

■ 改善  
□ (悪化)



13



## 2016年3月期 見通し 及び 主要施策の進捗状況

14

## グローバル販売台数



(千台)	2016年3月期			対前年 増/(減)	
	上期	下期	通期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数					
日本	126	114	240	15	7%
北米	236	213	449	24	6%
欧州	114	126	240	11	5%
中国	99	121	220	5	3%
その他市場	160	181	341	38	12%
合計	735	755	1,490	93	7%
<内訳>					
米国	167	153	320	14	5%
オーストラリア	56	59	115	14	14%
ASEAN	40	51	91	15	19%

15

## 2016年3月期 財務指標



(億円)	2016年3月期			対前年
	上期	下期	通期	増/(減)
売上高	16,000	16,500	32,500	2,161
営業利益	950	1,150	2,100	71
経常利益	1,000	1,150	2,150	24
税引前利益	950	1,100	2,050	(43)
当期純利益*	600	800	1,400	(188)
売上高営業利益率	5.9%	7.0%	6.5%	(0.2)pts
EPS (円)	100.4	133.8	234.2	
為替レート (円)				
USDドル	120	120	120	10
ユーロ	130	130	130	(9)

\*親会社株主に帰属する当期純利益

16



## 主要施策の進捗状況



### ■ SKYACTIV商品の継続的進化

- 大幅な商品改良を施したMazda6/アテンザ、CX-5は販売好調

### ■ 新型CX-3

- 日本は 発売1ヶ月で受注1万台超え、オーストラリアも好調に推移
- 欧州は6月から導入開始、ドイツなどで順調な滑り出し
- 米国には、8月から導入予定

### ■ 新型MX-5/ロードスター

- 5月に日本から導入、発売1ヶ月で5千台を受注
- 米国には7月、欧州とオーストラリアには8月より導入予定

### ■ SKYACTIV搭載比率は、84%まで増加

17

## 主要施策の進捗状況



### ■ メキシコ工場、タイ新AT工場の稼働状況

- メキシコ工場では6月よりトヨタ社向け小型車の生産開始
- タイ新AT工場では操業を2直化、立ち上がりは順調

### ■ トヨタ社と業務提携に向け基本合意

- 検討委員会を立ち上げ、具体的な業務提携内容の検討を開始
- 「クルマの新たな価値創造」
- 中長期的な相互協力関係を構築

18



添付

## キャッシュフロー及び純有利子負債

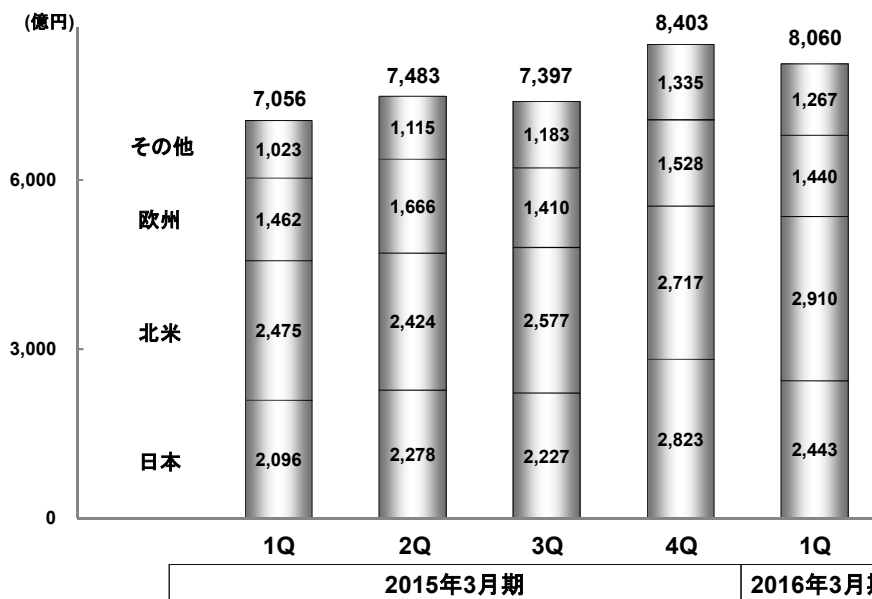


(億円)	2015年3月期 通期	2016年3月期 第1四半期	対前期末 改善/(悪化)
キャッシュフロー			
- 営業	2,045	630	-
- 投資	(956)	(265)	-
- フリーC/F	1,089	365	-
現金及び現金同等物	5,291	5,052	(239)
純有利子負債	1,719	1,479	240
純有利子負債 自己資本比率	20 / 15*%	16 / 12*%	4 / 3* pts
自己資本比率	35 / 37*%	36 / 38*%	1 / 1* pts

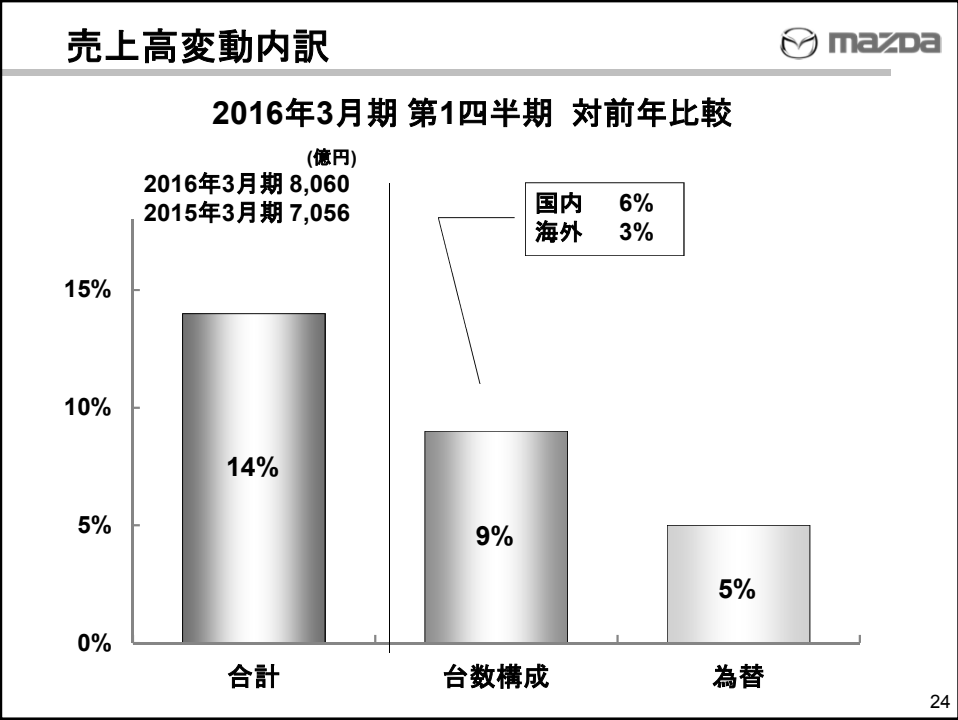
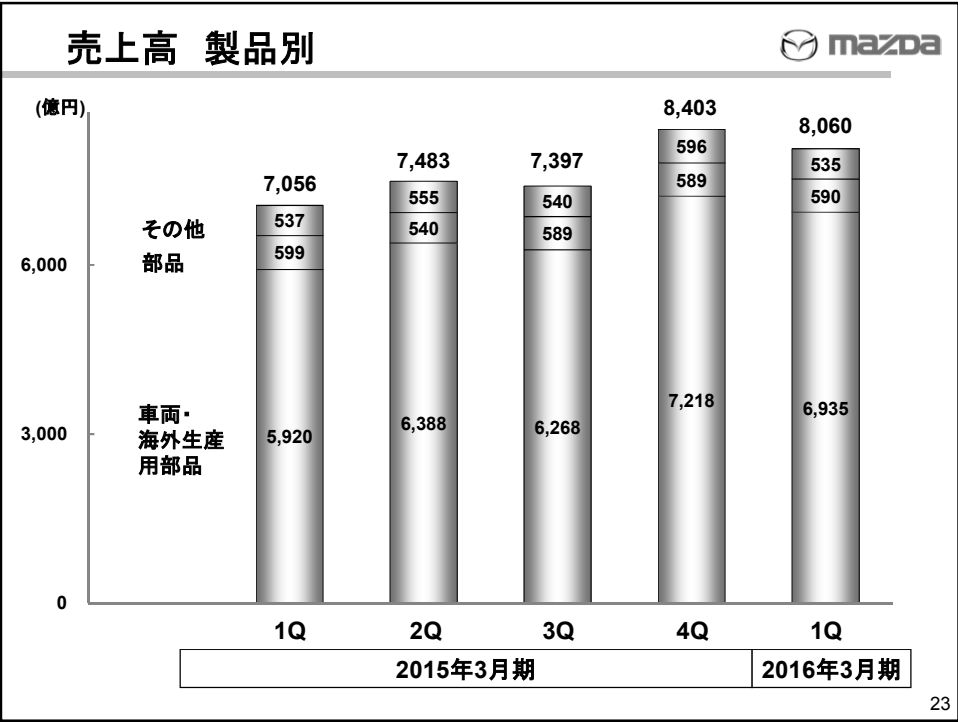
\* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

21

## 売上高 所在地別



22



## 連結出荷台数



(千台)	第1四半期		対前年 増/(減)
	2015年 3月期	2016年 3月期	
連結出荷台数			
日本	43	60	17
北米	111	115	4
欧州	52	54	2
その他市場	73	80	7
合計	279	309	30

25

## グローバル販売台数及び連結出荷台数

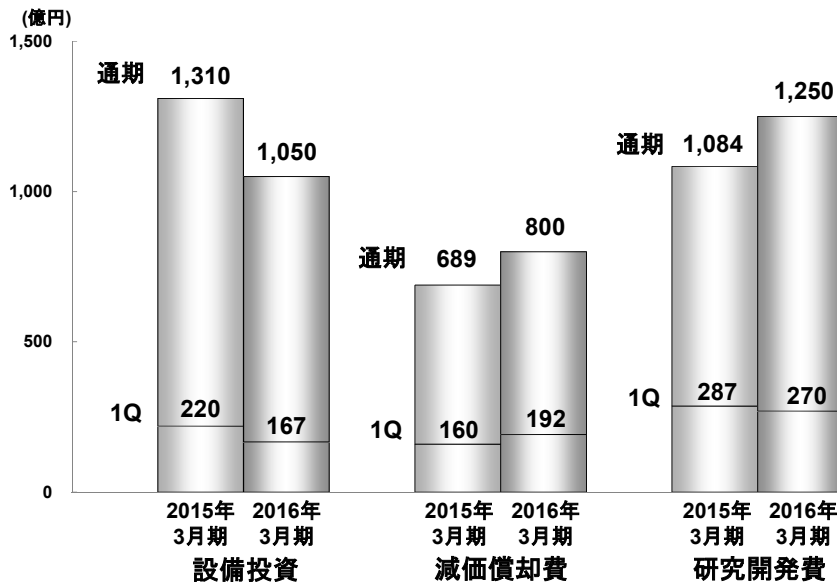


(千台)	2016年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
グローバル販売台数						
日本	126	114	240	36	(21)	15
北米	236	213	449	10	14	24
欧州	114	126	240	0	11	11
中国	99	121	220	5	0	5
その他市場	160	181	341	15	23	38
合計	735	755	1,490	66	27	93
連結出荷台数						
日本	127	115	242	33	(20)	13
北米	223	227	450	2	13	15
欧州	111	127	238	(4)	16	12
その他市場	174	176	350	22	13	35
合計	635	645	1,280	53	22	75

※ 2016年3月期見直し、OEM(社外供給)を含まず

26

## 主要データ



27

## 将来見通しに関する注意事項



このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。

28